

A R C

作品集

2 0 1 7

目次 CONTENTS

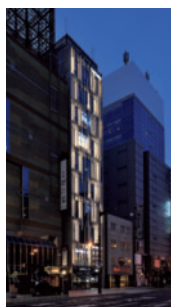
医療法人 春林会 華岡青洲記念 心臓血管クリニック 71



設計
監理 株式会社 DESIGN FIELD

施工 伊藤組土建株式会社

TOMORU 72



設計
監理 大成建設株式会社札幌支店 一級建築士事務所

施工 大成建設株式会社札幌支店

学校法人札幌北斗学園 札幌北斗高等学校 73



設計
監理 株式会社 ドーコン

施工 岩田地崎建設株式会社

学校法人 高陽学園 百合が原幼稚園 74



設計
監理 株式会社 西村建築設計事務所

施工 新太平洋建設株式会社

認定こども園 北見北光幼稚園 75



設計
監理 株式会社 清和設計事務所

施工 五十嵐・天内特定建設工事共同企業体

認定こども園 美山遊子 76



設計
監理 株式会社 清和設計事務所

施工 三共後藤・北成特定建設工事共同企業体

国家公務員共済組合連合会 斗南病院 77



設計
監理 株式会社 大建設札幌事務所

施工 株式会社熊谷組北海道支店

滝川自工北広島工場 78



設計
監理 株式会社 中島設計コンサルタント

施工 アイグステック株式会社 札幌支店

札幌田中病院 79



設計
監理 株式会社 テーアンドエヌ 北海道設計事務所

施工 岩田地崎建設株式会社

医療法人 春林会
華岡青洲記念 心臓血管クリニック

発注者 医療法人 春林会
設計監理 株式会社 DESIGN FIELD
施工 伊藤組 土建株式会社



外観（昼景）



外観（夜景）



待合



ホール



スタッフステーション

《設計概要》

面積 延べ2,903.60 m²
構造 RC造 地上4階・地下1階
外観仕上 フッ素樹脂塗装、アルミ製カーテンウォール
ZAM 鋼板パネル、コンクリート打放
工期 平成27年9月～平成28年7月
建設地 札幌市豊平区美園3条5丁目3-1

《設計主旨》

本建物は札幌市内都心より程近い場所にあり、札幌の大動脈である国道36号線、環状線、地下鉄東豊線「美園駅」付近に位置する。建主は世界初の全身麻酔手術を成功させた華岡青洲の末裔で、日本の医療スタイルを変えたい、心臓血管に特

化した今までにない医療施設を作りたいとの要望があった。クリニック的にはコンパクトな敷地であったために機能的かつ合理性が優先された。しかし、2Fのカテーテル室(91 m²) 操作室(82 m²) は世界でも有数の広さを確保した。3Fのスタッフステーションは看護(みまもり)優先の配置、病室は4床室・2床室も床頭台を配置し、個室のようにプライバシー性を高めた。外観はコンクリートの白い塊(フッ素樹脂塗装)を4種類の幅の縦型スリット(ガラスのカーテンウォール)が貫通・カットし「血管カテーテル」をイメージ。内装は共用部分の天井に外壁と同様にスリットを配置し、白黒配色で緊張感のある空間、診察室や病室に暖色系の木目を配色した落ち着いた空間とし、共用部と専門部を意図的に分けた。

TOMORU

発注者 株式会社エイチ・ビー・シー・ビジョン
C M r 東京建物株式会社
(コンストラクション マネジメント)
設計監理 大成建設株式会社札幌支店一級建築士事務所
施工 大成建設株式会社札幌支店



全体外観



外観詳細



エントランス

《設計概要》

面積 延べ1,974.90 m²
構造 RC造 地上10階建
外観仕上 アルミカーテンウォール、アルミルーバー
工期 平成27年7月1日～平成28年8月31日
建設地 北海道札幌市中央区南4条西2丁目11番7

《設計主旨》

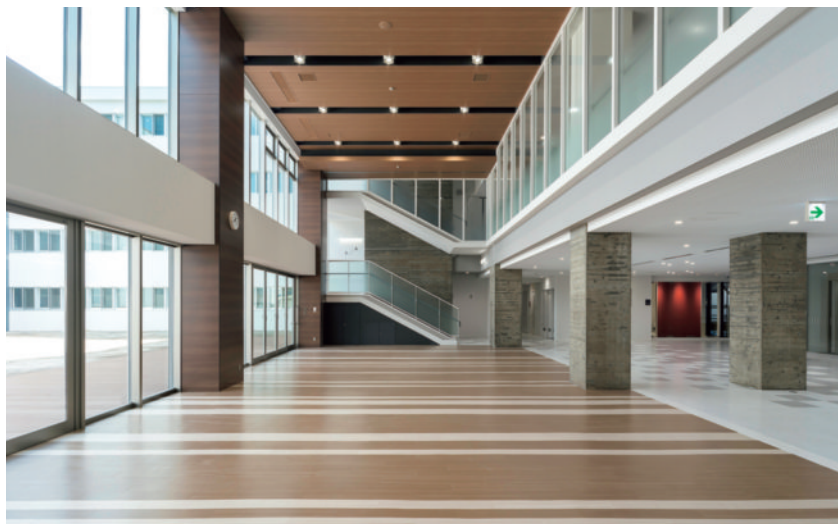
札幌を代表する繁華街すすきのではネオン看板建築がひしめいています。そうした周辺環境を逆手に取り、シンボリックな建物の佇まいを追求することで、ネオン看板に頼らずとも存在感のある建物を実現しています。夜になれば外装アルミルーバーに組み込まれたLED照明がビル全体を包みこみ、行燈の様な優しい光がお客様を迎え入れます。氷柱の中で光が反射を繰り返すような煌めきと透明感のある光を演出する

ため、ルーバー自体が輝いて見えるよう配光・拡散を両立する照明器具を選定し、照明回路をグルーピングしてそれぞれ調光の強弱を調整することで、より不均質で自然の中にある氷柱の輝きを表現しました。さらに飲食ビルとしての華やかさに貢献するシャンパンゴールドの発色を実現するために、ルーバー・アルミスパンドレルの素材感、光源の色温度、設置距離の組み合わせを様々に検証しました。商業建築として貸床面積の最大化するという命題も、照明演出スペースを奥行約25cmとし手を入れて全面点検できるよう納めることで解決しています。また、前面窓は開口率約40%と大きく確保していますが、氷柱をイメージした壁の奥に人の営みを垣間見ることのできる一体感のある外観として成立させることができました。

設計担当・柴崎耕平

学校法人札幌北斗学園 札幌北斗高等学校

発注者 学校法人札幌北斗学園
設計監理 株式会社ドーコン
施工 岩田地崎建設株式会社



きらぼしホール



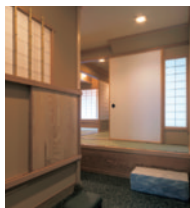
サブアリーナ



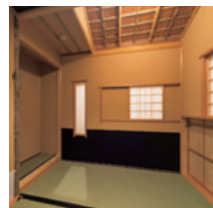
女子トイレ



中庭側外観



茶道室内路地



小間席二畳



茶室京間

《設計概要》

面積 延べ 13,117.27 m² (うち既存 4,359.03 m²)

構造 RC・S造・地上4階

外観仕上 複層塗材 RE、せり器質タイル、撥水剤

工期 平成27年8月～平成29年12月

建設地 札幌市東区北15条東2丁目24-1 ほか

《設計主旨》

札幌北斗高等学校は、創成川東側の文教エリアにある90年の歴史をもつ私立高校です。前庭、玄関、吹抜けの「きらぼしホール」及び中庭を一系列に配置することで、十分な広さの交流の場を確保しました。特に、玄関は靴の履き替えがないことで下足箱が不要となり、開放的な空間となりました。

吹抜けホールに面した職員室はガラス張りで廊下も兼ねて

いるため、生徒が入りやすくなっています。私学としての伝統を重視し、社会ニーズに対応した学習環境、高い利便性、技芸学校としての伝統を反映した機能的な華道室、本格的な茶道室、柔道室、サブアリーナなど、文化系、運動系活動室の充実と、快適な学習環境確保のため各教室に冷房を完備しました。女子の割合が多く、少ない休憩時間を有効に使えるトイレレイアウトにも配慮しました。「賢い庶民を育成する学校として親しみのある外観の中にもきらりと光る輝きをもったデザイン」をコンセプトとし、前身である「札幌北斗女学校」のイメージカラーを踏襲したレンガタイルと星(星座)をアクセントにしています。新校舎が未来に向けてはばたく生徒たちにとって、充実した時間を過ごす場になればと願っています。

設計担当・三浦 博

学校法人 高陽学園 百合が原幼稚園

発注者 学校法人高陽学園
設計監理 株式会社西村建築設計事務所
施工 新太平洋建設株式会社



《設計概要》

面 積 延べ1,922.87 m²
構 造 RC造・地上2階・地下0階
外観仕上 コンクリート打放し仕上の上吹付タイル、左官調仕上塗材等
工 期 平成28年6月～平成29年5月
建 設 地 札幌市北区百合が原11丁目185-3、185-6

《設計主旨》

緑豊かな市内百合が原公園の北側に位置する当幼稚園は、園児の推移に伴い増築を繰り返しておりました。今では、園児数400名以上の大規模な幼稚園となり、建物の老朽化とともに丘珠飛行場の騒音にも悩まされていました。新園舎は、防音対策を施し、周辺環境と園児数増加に適応した園舎として整

備を行いました。

防音対策が施されていないながらも、堅牢なイメージに陥らない「お城のような」と言う、園長の依頼に近づけるため、限定された敷地形状のなかでの施設づくりを行いました。

内部空間は、多くの保育室数を確保するため、2階建てとなりましたが、中央の採光豊かな遊戯室が核となり、随所に子どもたちが生活する過程で感じる、多様な体験による驚き、発見、達成感を通して豊かな個性を育むことができる環境づくりを提案しました。

また、母親同士の様々な情報交換や、親子のための行事や研修、会議などのサポートができるスペースの充実も目指しました。

設計担当・安中元規、茅森 昭

認定こども園北見北光幼稚園

発注者 学校法人北見光華学園
設計監理 株式会社清和設計事務所
施工 五十嵐・天内特定建設工事共同企業体



外観



廊下



幼児 WC

《設計概要》

面積 延べ 999.23 m²
構造 W造・地上 2 階・地下 0 階
外観仕上 木板貼り（縦羽目板）、鋼製角スパンドレル、窯業系サイディング
工期 平成 28 年 10 月～平成 29 年 6 月
建設地 北海道北見市錦町 185-16、185-17 の一部、185-18
設備業者 電気設備：株式会社でんこう
機械設備：株式会社吉崎工業所

《設計主旨》

35 年以上の歴史ある北見北光幼稚園の新園舎として、上質な教育・保育ができる園舎を目指し建設された。

外観は園児の手の触れる 1 階部分は木板貼を用いて明るい印象に、内装は園児ひとりひとりが主役と考え、華美な装飾は避け落ち着いた印象とした。園児利用の部屋と管理諸室での建具の色分けや、各保育室での差し色などで、意識的に各所室のゾーニングを園児たちに促している。

中央に出入口と事務室などを配置し、左右に未満児ゾーンと 3 歳以上児ゾーンを配置する L 型の平面プランとし、園庭を囲う様に建物を配置した。各保育室から直接、築山や張芝を配置した広い園庭へ出ていくことができる構成とし、中央の事務室から園庭を望むことができるため、大人の目の届きやすい安全で安心な施設となっている。

設計担当：笹木勇一、笹木圭輔

認定こども園美山遊子

発注者 社会福祉法人遊子社
設計監理 株式会社清和設計事務所
施工 三共後藤・北成特定建設工事共同企業体



外観



ホール



保育室

《設計概要》

面積 延べ 998.04 m²
構造 W造・地上 2 階・地下 0 階
外観仕上 木板貼り（下見張り）、
ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺き
工期 平成 29 年 3 月～平成 29 年 9 月
建設地 北海道北見市花月町 6-9、7-7
設備業者 電気設備：株式会社電建
機械設備：桜井暖房工業株式会社

《設計主旨》

認定こども園の移転新築であり、北見市の中心部に残された広大な緑地である河西ぼたん園と美山公園に囲まれた恵まれた立地の建物である。

自然体験が減少している現代の子ども達にとって貴重な体験が身近にできるよう、そしてその森が育む木が人間の営みを支えていることを少しでも感じられるように木造とし、内装も木をふんだんに使用している。

ウッドデッキの設置や、象徴的な八角形のホールと外部を大きな窓で連続的に構成することで、北海道では少ない半屋外空間での活動も可能にしている。

原則、LED を使用した間接照明とし、子どもらしい装飾を極力控え、シンプルで優しく、暖かい空間づくりを目指した。

設計担当：笹木勇一、赤堀健太

デザイン監修：井上 寿（こども環境アドバイザー）

国家公務員共済組合連合会
斗南病院

発注者 国家公務員共済組合連合会
設計監理 株式会社大建設札幌事務所
施工 株式会社熊谷組北海道支店



南東よりの外観



南東よりの外観(夜)



主出入口



4床室



外来総合待合

《建築概要》

面積 延べ21,540.69 m²
構造規模 S造一部RC造 地上11階地下1階
工期 平成26年12月～平成28年7月
建設地 札幌市中央区北4条西7丁目3-8
外観仕上 ECPの上レンガタイル・磁器質タイル・外装薄塗料
材E・超低汚染型塗料

《設計主旨》

旧KKR札幌医療センター斗南病院の移転新築である。新築後も札幌都心にて、先端医療・超急性期医療などで市外、道外から患者が来院する、北海道の医療をけん引する病院を目指して計画された。外観計画は、低層部に赤レンガを採用し、

斗南病院のイメージの継承や周辺のまちなみとの調和を図り、高層部を白を基調とした吹付け・塗装仕上げとすることによる清潔な病院らしさの表現を組み合わせている。平面計画は地下1階～3階を外来部門、4階をOP室などの診療部門、5階管理部門、6階～10階病棟、11階リハ部門等の構成である。これらを断面的に積層した都心型の高層化病院となっている。放射線診断・治療の充実、広い待合スペース、婦人科(人工授精)・内視鏡・検診部門・化学療法のセンター化、ハイブリッド・ロボットOPを含む広い手術部門、個室率45%の病棟などの特徴を持ち、「患者が入院・通院したい病院」と「医者・看護師などの職員が働きたくなる病院」を目標として計画された。

滝川自工北広島工場

発注者 株式会社 滝川 自 工
代表取締役 滝川 雅司
設計監理 株式会社 中島設計コンサルタント
担当 中島 勉
施 工 アイグステック株式会社 札幌支店



工場正面 北西外観



道路側 東外観



車検場 内観



整備工場 内観

《建築概要》

建 設 地：北広島市大曲工業団地2丁目3-18
規模・構造：鉄骨造2階建て 延べ面積 1,427.93 m²
用 途：自動車修理工場（大型車）
外 装 等：屋根：A L C下地露出アスファルト改質防水
外壁：ガルバリウム鋼板角波張り
内 装 等：床：フェロコンハード同時散布工法
腰壁：P B下地化粧ケイカル板仕上げ
鉄骨部材：S O P塗り仕上げ

《設計主旨》

当該一団工場敷地内に老朽化した工場が有り、今回はその工場を撤去して、新工場を建築した。

工場内で利用する機器の最新化、廃油の再利用、作業の利便性と効率を高める動力源供給、工場内安全性確保と防災設備の完備に対応した設計を行っている。

札幌田中病院

発注者 株式会社 リョーワ
設計監理 株式会社テーアンドエヌ北海道設計事務所
施工 岩田地崎建設株式会社



外観



外観



病棟



エントランス



ホール

《建築概要》

面積 延べ 8,718.48 m²
構造 RC 造・地上 4 階
外観仕上 磁器質ポードertail
コンクリート打放しの上 複層塗材
工期 平成 28 年 5 月～平成 29 年 7 月
建設地 札幌市手稲区西宮の沢 4 条 4 丁目
設備業者 電気設備：株式会社サンテック
機械設備：三建設備工業株式会社

《設計主旨》

本建物は手稲山を一望できる手稲区西宮の沢地区に位置し、地域高齢者医療の発展を担ってきた「タナカメディカルグループ」の本院である。1 階には外来診察、放射線検査室、リハビリテーション室を置き、各々を一巡出来る回廊形式とし

患者、医療スタッフの動線に「わかりやすさ」を追求した、ユニバーサルデザインである。玄関の正面にはガラス貼りのリハビリテーション室を配置し、明るく、動きのある療養環境を演出している。計 334 床からなる療養病床を置く 2 階から 4 階は「見通しの良い」空間とするため、両側に病室を、中央に 2 カ所のスタッフステーションを配したダブルコリドル方式を採用し、看護・介護スタッフの「はたらきやすさ」と患者の「快適さ」を兼ね備えた環境空間としている。

2 階にはバリアフリー構造のルーフデッキを備え隣接する中の川河川敷を一望し四季の変化を感じる交流空間を設けている。札幌田中病院は、自宅生活や介護が困難になり、継続的医療が必要とされる方の長期入院が可能な療養型病院で、1977 年に開院。建て替えによって機能の充実と医療・療養環境の改善を図り、より良い医療サービスの提供を実現する。設計担当・稲葉 明、八楯昌利